

ごあいさつ

長岡造形大学で同級生の私たち五人が、卒業後再び集まりました。

同じ学び舎からそれぞれの環境へ移り
目にしたもの・感じたことを思い思いに形にしています。

本展の開催へ至るまでに、私たちは集まっては作品を共有し合ったり
話し合いを重ねてきました。

道分かれた先、お互いの環境を知り得ないからこそ
その中で共有される作品や言葉たちは新鮮で眩しいものでした。

私たちがお互いに思い合う敬意と感動を惚れ惚れする様へ例え
本展を「ほれぼれ荘」と称し、一つ屋根の下、共に作品を並べます。

私たちの表現方法は立体から平面まで様々で
大学時代のアトリエもバラバラの場所にありましたが
気づけばこの五人で集まりました。

分野が異なった五人ですが、私たちは通底する何かを感じているのです。

ほれぼれ荘に集まった私たちの思いを、どうぞご覧ください。

惚れ惚れしちゃうくらい、自慢の友人たちです。

國重 美紀 （鍛金）

志賀 野々香 （詩とドローイング）

高野穂乃香 （鋳金）

水脇 梨菜 （平面表現）

矢川 実侑 （彫刻）